



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場会社名 SBテクノロジー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4726 URL <https://www.softbanktech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 阿多 親市

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 清水 哲也 TEL 03-6892-3063

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	26,841	9.3	1,341	32.2	1,341	72.2	799	64.1
2019年3月期第2四半期	24,561	1.5	1,014	40.8	778	12.4	487	18.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 825百万円(68.4%) 2019年3月期第2四半期 490百万円(12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	40.05	39.57
2019年3月期第2四半期	24.71	24.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	27,968	16,580	55.2	770.18
2019年3月期	27,492	15,857	53.9	747.03

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,452百万円 2019年3月期 14,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	7.1	3,000	19.3	2,900	26.6	1,700	22.6	85.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	22,564,600株	2019年3月期	22,340,600株
2020年3月期2Q	2,501,370株	2019年3月期	2,501,279株
2020年3月期2Q	19,968,991株	2019年3月期2Q	19,724,788株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年10月29日(火)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催いたします。決算補足説明資料はTDnetで開示するとともに、当社ホームページ (<https://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>) にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内の企業及び官公庁・自治体のIT戦略は、オンプレミス（社内設置）からクラウドを前提としたクラウドファーストにシフトしております。

情報システム部門が社内向けに提供するコーポレートIT領域においては、働き方改革や人手不足を背景とした生産性向上のためのクラウド導入及び導入後の利活用、加えてセキュリティ対策などの旺盛な需要により、システム投資が堅調に推移しています。

また、戦略事業の強化や競争優位性の確保のために利用するビジネスIT領域においては、DX（デジタルトランスフォーメーション）と呼ばれる、デジタル技術やデータを活用した製品やサービス、ビジネスモデル変革の需要が高まり、IT投資は全般的に増加基調にありました。

このような経営環境の中、コーポレートITソリューションは、製造業を中心にセキュリティ分野のコンサルティングやソリューションが堅調に推移しました。また、従来から得意としているマイクロソフトソリューション及びclouXion（クラウドジョン）ブランドで展開している独自クラウドサービスやマネージドセキュリティサービスも伸長したことにより、増収増益となりました。

ビジネスITソリューションは、ウェブ解析関連ソリューションの売上が減少したものの、製造業向けデータプラットフォーム構築案件や中央省庁向けクラウド開発案件が増加したことにより、増収増益となりました。

オンプレミス環境のソリューションを提供するテクニカルソリューションでは、ソフトバンクグループ向けの開発案件及び運用サービス案件が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

ECソリューションでは、シマンテックストアのEC運営代行ビジネスにおいて売上が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

なお、売上高、限界利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は第2四半期連結累計期間として、過去最高となりました。

(百万円)

	前年同期	当第2四半期	増減	増減率
売上高	24,561	26,841	2,280	9.3%
限界利益	7,013	7,738	725	10.3%
固定費	5,999	6,397	398	6.6%
営業利益	1,014	1,341	326	32.2%
経常利益	778	1,341	562	72.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	487	799	312	64.1%
1株当たり 四半期純利益	24.71円	40.05円	15.34円	62.1%

なお、当社の報告セグメントは「ICTサービス事業」の単一セグメントとしておりますが、「ICTサービス事業」を構成する各ソリューションの内容及び業績については、P.4の「ソリューション区分の説明」をご参照ください。

〈 第3次中期経営計画の進捗 〉

当社グループは「サービスプロバイダーへの進化」と「コンサルティング&ビジネスITの創出」を重点テーマに位置付け、第3次中期経営計画を推進しております。

・サービスプロバイダーへの進化

自社サービスであるclouXion及びマネージドセキュリティサービスのラインアップの拡充を進めました。また、販売代理店契約を整備しパートナー企業と契約締結するなど、ビジネスをスケールさせるための準備を着実に進めております。

・コンサルティング&ビジネスITの創出

グローバル製造業・建設業・農業の分野に注力して協創に取り組んでおります。これらの業界において競争力強化のためのクラウド活用や、お客様のIoTサービス開発支援などを進めており、ビジネスパートナー企業・団体との関係性強化が進んでおります。

また、2022年3月期において、企業のクラウドファースト戦略を実現するコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率を50%まで引き上げるとともに、「連結営業利益43億円（2019年3月期を起算にCAGR20%成長）」を達成することを経営指標に掲げております。

当第2四半期連結累計期間におけるコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率は前年同期比2.2ポイント増の35.0%となりました。営業利益は前年同期比32.2%増の1,341百万円となり、目標としている成長率で進捗しております。

〈 ソリューション区分の説明 〉

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なソリューションの内容及び業績については、次のとおりです。

なお、第3次中期経営計画で設定した重点施策の進捗を確認できるよう、改めて各社の事業内容とソリューション内容を照らし合わせた結果、前事業年度の有価証券報告書の記載から「ソリューション内容」及び「主要な事業会社の名称」の項目を変更しています。

また、各ソリューション区分の前年同期の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

ソリューション区分	ソリューション内容	主要な事業会社の名称
ビジネスIT ソリューション	< クラウドビジネス／事業部門向け > ・コンサルティングサービス ・DXソリューション ・AI・IoTソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・リデン(株)
コーポレートIT ソリューション	< クラウドビジネス／全社・管理部門向け > ・クラウドインテグレーション ・業務効率化サービス ・クラウドセキュリティサービス ・セキュリティ運用監視サービス ・電子認証ソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・(株)環 ・アソラテック(株)
テクニカル ソリューション	・オンプレミスのシステムインテグレーション ・機器販売、構築、運用保守サービス ・Linux/OSS関連製品の販売、組込開発 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株)
ECソリューション	・ECサイト運営代行 ・フォントライセンスのEC販売 等	・SBテクノロジー(株) ・フォントワークス(株)

(百万円)

		前年同期	当第2四半期	増減	増減率
ビジネスIT ソリューション	売上高	1,557	1,654	96	6.2%
	限界利益	554	770	216	38.9%
	利益率	35.6%	46.6%	11.0ポイント	—
コーポレートIT ソリューション	売上高	6,502	7,750	1,247	19.2%
	限界利益	2,656	3,020	364	13.7%
	利益率	40.9%	39.0%	△1.9ポイント	—
テクニカル ソリューション	売上高	6,263	6,605	342	5.5%
	限界利益	2,289	2,353	63	2.8%
	利益率	36.6%	35.6%	△1.0ポイント	—
ECソリューション	売上高	10,237	10,831	593	5.8%
	限界利益	1,512	1,593	80	5.4%
	利益率	14.8%	14.7%	△0.1ポイント	—
計	売上高	24,561	26,841	2,280	9.3%
	限界利益	7,013	7,738	725	10.3%
	利益率	28.6%	28.8%	0.2ポイント	—

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	前期末	当第2四半期末	増減
総資産	27,492	27,968	475
純資産	15,857	16,580	723
自己資本比率	53.9%	55.2%	1.3ポイント

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より475百万円増加して27,968百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末より81百万円増加しました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末より394百万円増加しました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より247百万円減少して11,387百万円となりました。流動負債は、買掛金の減少などにより、前連結会計年度末より145百万円減少しました。固定負債は、長期前受金の減少などにより、前連結会計年度末より101百万円減少しました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末より723百万円増加して16,580百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、2019年4月24日に公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,728	9,271
受取手形及び売掛金	10,011	9,029
商品	36	77
仕掛品	259	418
その他	973	1,291
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	20,008	20,089
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	584	598
工具、器具及び備品(純額)	636	664
建設仮勘定	—	15
有形固定資産合計	1,220	1,279
無形固定資産		
のれん	710	632
ソフトウェア	1,297	1,336
ソフトウェア仮勘定	461	548
顧客関連資産	399	367
その他	199	185
無形固定資産合計	3,068	3,070
投資その他の資産		
投資有価証券	717	850
繰延税金資産	818	801
その他	1,658	1,877
投資その他の資産合計	3,194	3,529
固定資産合計	7,484	7,879
資産合計	27,492	27,968

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,515	5,255
1年内返済予定の長期借入金	24	—
リース債務	81	83
未払金	893	863
未払法人税等	663	583
前受金	1,505	1,690
賞与引当金	902	1,029
役員賞与引当金	—	45
受注損失引当金	41	14
瑕疵補修引当金	0	—
資産除去債務	5	5
その他	580	495
流動負債合計	10,212	10,067
固定負債		
リース債務	373	332
繰延税金負債	87	79
長期前受金	517	436
退職給付に係る負債	43	46
資産除去債務	287	312
その他	112	112
固定負債合計	1,422	1,320
負債合計	11,634	11,387
純資産の部		
株主資本		
資本金	995	1,120
資本剰余金	1,111	1,212
利益剰余金	14,290	14,693
自己株式	△1,568	△1,568
株主資本合計	14,829	15,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△8
為替換算調整勘定	3	2
その他の包括利益累計額合計	△8	△6
新株予約権	160	195
非支配株主持分	876	933
純資産合計	15,857	16,580
負債純資産合計	27,492	27,968

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	24,561	26,841
売上原価	20,545	22,353
売上総利益	4,015	4,488
販売費及び一般管理費	3,001	3,147
営業利益	1,014	1,341
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
持分法による投資利益	—	5
補助金収入	12	—
雑収入	3	5
営業外収益合計	16	11
営業外費用		
支払利息	4	3
持分法による投資損失	238	—
為替差損	4	5
雑損失	4	1
営業外費用合計	251	10
経常利益	778	1,341
特別利益		
投資有価証券売却益	86	—
特別利益合計	86	—
特別損失		
減損損失	—	14
事務所移転費用	63	—
特別損失合計	63	14
税金等調整前四半期純利益	802	1,327
法人税、住民税及び事業税	395	495
法人税等調整額	△86	8
法人税等合計	308	504
四半期純利益	493	823
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	487	799
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	3
為替換算調整勘定	△0	△1
その他の包括利益合計	△3	2
四半期包括利益	490	825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	802
非支配株主に係る四半期包括利益	5	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	802	1,327
減価償却費	522	507
減損損失	—	14
のれん償却額	77	77
株式報酬費用	18	55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	76	127
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	41	45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	3
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2	△26
瑕疵補修引当金の増減額(△は減少)	1	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	4	3
持分法による投資損益(△は益)	238	△5
投資事業組合運用損益(△は益)	2	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△86	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,396	982
たな卸資産の増減額(△は増加)	△186	△255
営業債権の増減額(△は増加)	△103	△282
仕入債務の増減額(△は減少)	△866	△259
未払消費税等の増減額(△は減少)	△30	△76
営業債務の増減額(△は減少)	45	△7
その他	1	2
小計	1,950	2,232
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△489	△557
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,456	1,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△127	△109
無形固定資産の取得による支出	△477	△467
投資有価証券の取得による支出	△9	△123
投資有価証券の売却による収入	133	—
貸付金の回収による収入	3	3
差入保証金の差入による支出	△173	△114
差入保証金の回収による収入	0	0
その他	△29	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△681	△806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△160	△24
株式の発行による収入	70	130
自己株式の取得による支出	△337	△0
配当金の支払額	△297	△395
リース債務の返済による支出	△39	△39
非支配株主からの払込みによる収入	280	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482	△320
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	292	542
現金及び現金同等物の期首残高	7,606	8,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,899	9,271

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。